

ながぐつの土ようび「とびだせ！春のたんけんたい」H27年4月18日（日）参加者76名（一般58）
 青空が広がり、集合時間よりも早めに子供たちが集まってきました。酪農大学の先生や学生スタッフも揃い、“春のたんけんたい”出発です。ウメの香橋を渡り、湿地の方へ下りて行くと、ミズバショウが見えてきました。白いキタコブシの花が咲き始め森の木々の緑が少し色づいてきました。はらっぱで乾草をめくると、クモや小さな虫が動いてるね！エゾアカガエルの卵はやわらくてプルプル！みんなで春をいっぱい見つけました。オツネントンボ、クジャクチョウ、ヒレンジャクも見えました。



出発前のお話し。



梅の香橋からの景観:春のたんけんたい！



オタマジャクシはいるかな？



ゆうさんが木の芽の説明をしてくれました。



ミズバショウを見ながら散策



ケースに入れてじっくり見てみよう。



乾草の下にはクモやコオロギ、小さな虫がたくさんいるね。



朽ちた木にも虫が動いてる。



オツネントンボ



クジャクチョウ



エゾアカガエルのたまご（卵塊）
 お母さんカエルは年1回の産卵期に1匹あたり1つの卵塊を産卵します。



観察した後は元の場所へ返しました。